

- ② 令和8年度事業計画・予算／宅老所
- ③ 令和8年度事業内容
- ④ 生活支援・介護予防サポーター養成講座
善意銀行お礼／防災学習会
- ⑤ たかぎボランティア・地域活動情報誌さくみち
- ⑥ おしらせ／3か月の予定／職員の一言

●編集・発行● 社会福祉法人喬木村社会福祉協議会 〒395-1107長野県下伊那郡喬木村6670-1 TEL 0265-33-4567 FAX 0265-33-4619
Eメールアドレスtakagi-shakyo@miracle.ocn.ne.jp(代表) ホームページアドレス http://takagi-syakyo.com/
●印刷● 龍共印刷株式会社

宿題会



3月27日(金曜日)にみんなの広場アスポで、村内の小学生を対象に宿題会を行いました。これは宿題を通して地域の大人との多世代交流や、地域のボランティアの皆さんの活躍・生きがいの場を提供することを目的にしています。参加者は1年生から6年生まで30人が集まり、見守りボランティアとして中高生12名が入りました。高校生ボランティアとして参加した大場さんは「どう話しかければいいか難しかったけれど、皆かわいくて楽しかった。機会があればまた参加したい」と話し、第一小2年生の佐々木さんは「大きな声で先生を呼ぶのが恥ずかしかった」と話します。こうした経験を重ねながら、勇気を出して声をかけてみることを学んでもらいたいと思います。そして中高生の皆さんにとっても、小学生の皆さんにとっても心に残る宿題会になればいいなと思います。次回の開催は夏休みの予定です。

令和8年度 喬木村社会福祉協議会事業計画・予算

令和8年度事業計画及び予算が去る3月3日理事会、3月24日評議員会において承認されました

社会福祉法人喬木村社会福祉協議会は「人は人で支えられ、安らぐ社会」の実現に向け、豊かな共同体が実現できるよう、地域共生社会形成に向けて努力してまいります。

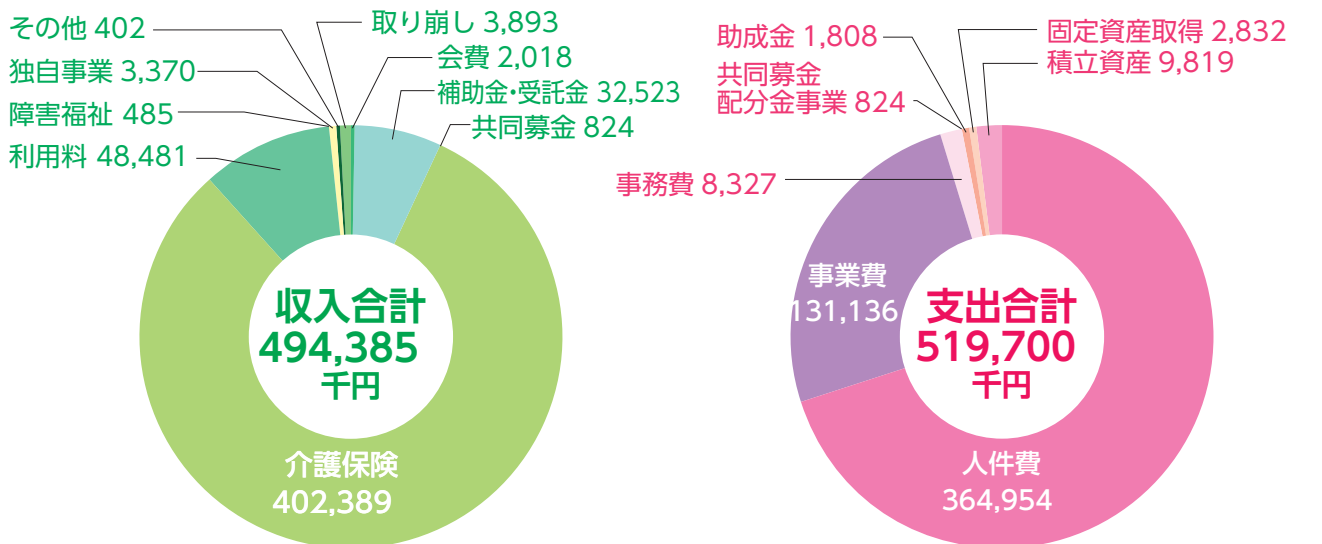
家族の役割が変わる中、「介護難民を無くす」と「介護不幸ゼロ」の目標に向け、一人で住んでいても一人じゃないコミュニティづくりと、居場所づくりから、幸せの追求と重層的支援で信頼を得てまいります。また、関係者・関係団体・行政と共に、役職員が責任のある行動で「美し郷」をめざします。

喬木村社協 会長 座光寺秀元

基本理念 「人と人との関わり」「人とのコミュニティとの関り」「人と自然との関わり」を大切にし、自立と共生の権利を応援する社協

令和8年度 喬木村社会福祉協議会予算

(単位：千円)



宅老所ふれ愛

宅老所ふれ愛では2月に節分の行事を行いました。年に一度の厄払いの行事、皆さん「鬼は～外！福は～内！」と大きな声で豆（玉）を勢い良く投げてくださいました。お昼には恵方巻き作りも行い、手慣れた様子で海苔の上にご飯を敷き、玉子焼き、きゅうり、カニカマ、かんぴょう、でんぶ等の具を上手に巻いて下さり、今年の恵方（南南東）の方角に向けて美味しくいただきました。

宅老所では、その他にもぼた餅作り、五平餅作り、お花見、干し柿作り等、様々な季節の行事を行っています。是非一度見学にお越しください。（日曜日はお休みになります）

利用者様からの一言

宅老所は私にとってなくてはならないもの、ここへ来る事が幸せな時間です！

喬木村社会福祉協議会 令和8年度事業内容

地域福祉事業

■総合相談事業

- ①住民が抱える生活課題を受け止め、地域や関係機関と連携し、解決に向けた支援を行う。
- ②地域住民と共に支え合いの仕組みや資源開発を行う。

【総合相談事業】

- ・生活困窮者支援（まいさぽ一次相談窓口）
- ・権利擁護の推進（日常生活自立支援事業）
- ・子ども支援事業
（学習・生活支援事業）
（子どもの居場所づくり支援事業）
- ・貸付事業（生活福祉資金、くらしの資金）

【地域支援事業】

- ・地域住民と協働による社会資源の整備
- 新**・身寄り問題の検討
- ・生活支援・介護予防サポーター養成講座
- ・生活支援事業（喬木村おたすけ隊事務局）

■ボランティア

- ①ボランティアの拠点として、住民主体によるボランティアセンターの整備充実を図る
 - ・情報誌、HP、SNS、掲示板等による情報発信
 - ・ボランティアセンター運営委員会
- ②ボランティア活動者が主体となって、楽しみややりがいをもって活動できるよう支援する。
 - ・村内ボランティア活動の支援
 - ・ボランティア育成
- ③地域住民同士がつながり、支え合える地域づくりを推進する。
 - ・福祉教育の推進（ふくしの集い）
 - ・住民グループ（サロン）活動への支援
 - ・認知症総合支援
 - ・各種福祉団体等事務局（遺族会、高齢者クラブ連合会、身体障がい者福祉協会、結婚相談員会他）
- ④災害ボランティアセンター機能の充実を図り、防災減災への取り組みを進める。
 - ・災害ボランティアセンター運営訓練や防災学習会の実施
 - ・災害時要配慮者支援事業（個別避難計画作成支援）

■共同募金事業

- ・共同募金活動の実施・稲穂会・みんなでランチ
- ・希望の旅・福祉教育推進事業・年末弁当
- ・生活支援事業・ふれあい広場 等

■その他

- ・訪問理美容、寝具乾燥サービス
- ・配食サービス
- ・福祉用具、福祉車両貸出サービス

在宅介護保険事業

「住み慣れた自宅で地域に暮らす馴染みの方々と、その人らしく生活を続けられるよう支援します」

- 居宅介護支援事業（ケアマネ）
- 訪問介護事業（ヘルパー）
- 通所介護事業
（デイサービスふれ愛 定員 30名）
- 地域密着型通所介護事業
（宅老所ふれ愛 定員 10名）
- 介護予防・日常生活自立支援総合事業
 - ・訪問介護及び通所介護にて受入れ
 - ・いきいきクラブ
（AM：いきいき男塾、交流コース）
（PM：入浴コース）
- 障がい者総合支援事業
 - ・居宅介護・重度訪問介護・行動援護
- 福祉有償運送

施設介護保険事業「特養喬木荘」

「利用者一人一人の尊厳を守り、その人らしい生活を支え、地域の人々が安心できる福祉施設をめざします」

- 本入所 対象：要介護3以上 定員 58名
- 短期入所 対象：要支援以上 定員 7名

生活支援・介護予防サポーター養成講座

毎年開催されているこの講座を今回は3日間に分けて行いました。(1/16、1/23、2/20)

1回目の講師は、県長寿社会開発センター南信州支部から今村光利氏をお招きし「シニアと社会参加」を学びました。今村氏は「人任せ、行政まかせにせず、こうなったらいいあの想像をふくらませてシニアになっても楽しく暮らしてほしい」と参加者に伝えてくれました。

2回目の講師として、下伊那厚生病院の理学療法士の原氏から「ロコモと転倒予防」と認定看護師の谷川看護師から「認知症について」の学びを受けました。受講した参加者からは「家族に認知症かなと思える症状が見られたら、どう対応すればいいのか分かった気がする」という声をお聴きしました。



県長寿社会開発センター 今村氏

3回目の講師は、飯田短期大学 介護福祉学部の太和田教授をお招きし「高齢者の生活支援の基礎知識」と題して講話を頂きました。参加者からは「サポーターは、人の支援ではなく、自分の為の活動なんだと、もやもやしていた事がハッキリして、今後の支援活動にいかせる気づきになった」と話してくれました。今後も、地域の皆さんに必要なとされる講座を計画してきたいと思いません。

善意銀行を活用させていただきました

善意銀行とは、地域の皆さまの善意によるご寄付をお受けし、社会福祉に関わる事業に活用させていただき仕組みです。喬木村社協ではこの善意銀行の一部を活用し、令和7年11月にデイサービスセンターの特殊浴槽を入れ替え購入させていただきました。これにより利用者様が安心して入浴していただけるようになり、また職員の負担軽減となっています。皆さまのお気持ちを大切にしながら使用させていただいています。ありがとうございました。



防災学習会

「備蓄食品の大切さ」

～家族で災害時においしく 食べる工夫や試食～

今回は非常食に絞って、2月12日(木)に防災学習会を開催しました。

災害に備えた非常食に関心がある方、子どもや親等の家族のためにと10名が参加されました。社協の防災士が講師となり、どうして備蓄品が必要なのか、災害時の報告や要配慮者の方の食事、備蓄食品の準備方法等を学びました。試食では非常食の味を知り、今後ご家族が食べられる備蓄食品の準備ができるよう、見本品も持ち帰りました。参加された方からは「家の備蓄食品を考えていきたい」「もっと多くの人に聞いてもらいたい」「もっと聞きたかった」等の声をいただき、関心の高さを感じました。



たかぎボランティア・地域活動情報誌

さくみち



令和8年4月発行
編集・発行
喬木村社会福祉協議会
ボランティアセンター
Tel33-5520
fax33-5330

学校をピカピカにしてください！「ぞうきんお届けプロジェクト」

地域の方々が手作りされた「ぞうきん」を村内3校へお渡ししました。多くの方にご協力いただきありがとうございます。



第二小学校 生徒会の生徒さんにお渡ししました。



第一小学校 教頭先生へ

地域の皆様、雑巾作りやタオルの寄贈に温かいご協力をいただき、ありがとうございました。

地域の方々から330枚もの手作り雑巾が集まりました。ひとつひとつ丁寧に縫われた雑巾は、皆様が気持ちを込めて作っていただきました。

お預かりした雑巾は、村内の小中学校へお届けいたしました。

ボランティア連絡会 会長



喬木中学校 教頭先生へ

アスポに集まり雑巾作りをしました！



ぞうきん作り活動をしながらのおしゃべり、活動後のお茶会を行うなど参加者同士が活動を通して交流することのできる機会となりました。

今後も雑巾作りなど行います。お気軽にご参加お待ちしております。

ア ス ボ

ちょこっとボラの日

開催：4月24日（金）14：00～16：00

場所：みんなの広場アスポ（フリースペース）

参加費：200円（材料代）

※材料の一部よりアスポ飾りつけ用

内容：季節の飾りを一緒に作りませんか？
ご自宅用やアスポに来る子ども達がワクワクするような飾り付けも皆さんで行います。

みんなであそびランチ会



宿題会と同日に福祉センター多目的ホールで、だれでもランチ会を開催しました。

北の有志の女性部の皆さんが特製カレーを作り、中、高生のボランティアと、宿題会を終えた小学生合わせて70名が頂きました。

「今日はこれを楽しみに来た」と話す中学生や「家で食べるカレーと同じくらいおいしい」と、宿題会に参加した小学生も話してくれました。このランチ会では、地域に暮らす皆さんが「食」を通じて、交流をすることが目的です。ボランティアさんが作ったカレーを同じ空間で食べながら時間を共有することで「あなたは一人ではないよ」と知ってもらえればなあと思います。これからも「食」を通しての支援を続けて参ります。



また、3月23日には放課後デイ&児童クラブの交流会では、伊久間つなぐ会の皆さんにも100人分の特製カレーを振舞って頂きました。皆さん本当にありがとうございました！

おたすけ隊交流会



3月5日(木曜日)に支援活動を行っている協力の皆さんとコーヒーやお茶菓子を食べながら交流会を行いました。日頃の活動のやりがいをお聞きしたり「こんな時どうすればいいかな」と困ったことなどを皆で共有しました。「普段はひとり活動をしているけれど、集まる場があることでまたがんばろうと思える」と話す方も。昨今の物価高騰により、交通費の見直しの検討も行いました。現在協力員は54名が登録をしています。協力員の皆さんにとって無理なく、やりがいある活動をしてもらうにはどうしていけばいいのかを引き続き協力員の皆さんと考えて参ります。

（この文章は上記の文章と重複しています）

4月の予定	結婚相談	18日 (土)	19:00~20:00	福祉センター談話室(予約制)
	なずな予防カフェ	28日 (火)	10:00~12:00	アスポ
5月の予定	心配事相談	8日 (金)	10:00~11:00	アスポ
	結婚相談	16日 (土)	19:00~20:00	福祉センター談話室(予約制)
	なずなカフェ	12日 (火)	10:00~12:00	アスポ
6月の予定	なずな予防カフェ	26日 (火)	10:00~12:00	アスポ
	心配事相談	5日 (金)	10:00~11:00	アスポ
	結婚相談	20日 (土)	14:00~17:00	福祉センター談話室(予約制)
	なずなカフェ	9日 (火)	10:00~12:00	アスポ
	なずな予防カフェ	23日 (火)	10:00~12:00	アスポ

職員のひとりごと

朝晩はまだ寒く、日中は初夏のように暑い季節となりました。気温の変動が激しく体調管理が難しい今日この頃ですが、草木の芽吹き、春の香りも感じられ、山菜など今しか食べられない味覚の楽しみも増えてきた時期でもあります。この春の訪れと共に、毎年私を憂鬱にさせるのが害虫達の出没です。20年ほど前までは6月頃から目にした私の一番苦手な害虫の“それ”は、温暖化のためかここ数年前から4月頃に出没するようになり、12月にも私の前に現れた事があるのです。恐ろしい見た目であんなに動く“それ”は、夜間に活動し、つがいで行動を共にするらしく、「一匹見つけたら必ずもう一匹いる」と聞いた事があり、「そんな、まさか」と思いつつも、一匹仕留めた後にバルサンを焚いてみた所、本当に出てきた事もあったのです。時には服の中に潜っており首元から這って出てきた事も経験済…この時期になると夢にまで出て来て私を悩ませる“それ”の正体は…お分かりの方もいると思いますが“ムカデ”でした。(K.S)

ご意見・ご要望をお寄せください

社会福祉法人 喬木村社会福祉協議会
電話 0265-33-4567 fax 0265-33-4619
Eメールアドレス takagi-shakyo@miracle.ocn.ne.jp(代表)

